

## 令和3年度嘉島町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は、全耕地面積に占める水田の割合及び水田の基盤整備率はともに約90%となっており、水稻・小麦・大豆作付けを主とした土地利用型農業を展開することで、土地利用率は180%以上となっている。

本町が抱える課題として、減少傾向にある各作物の単収を増加させる必要があるため、関係機関と協力・連携していきながら、単収増加に向けて取り組み、稼げる農業を実現し、将来の営農存続に向け、今後とも取り組んでいく。

### 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

転換作物の中心として、大豆の生産に今後とも取り組む。広域的な団地化による2年3作のブロックローテーションを確立し、連作障害を回避するとともに、弾丸暗渠等排水対策徹底による栽培管理遵守により、平均収量270kg/10a以上の生産を目標とする。また、地元メーカーとの連携による加工・販売を推進し、高品質な生産物の安定的な出荷により高付加価値化を目指す。

麦については、実需者ニーズに応じた品種の作付け拡大を推進し、水田利用率向上を図る二毛作として一大主産地を目指す。

高収益作物については、作付面積の維持・拡大を図り、特に「いちご」、「トマト」、「ニラ」等を振興品目として他品種からの転換、面積拡大を図る。

また、花き・花木についても、水田の有効利用に効果的であることから、今後とも作付けに対して支援を行う。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水稻を組み入れない作付体系が数年以上定着し、今後とも水稻作に活用される見込みのない水田については、地権者や耕作者の意向を調査するとともに、重点支援期間における畑地化支援を活用し、高収益作物の導入など周辺の土地利用型農業への影響を考慮しながら慎重に畑地化を進めていく。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。需要動向や集出荷業者等の意向を勘察した米の生産を行うとともに、熊本県推奨うまい米基準プレミアム米Sランクの安定供給を目指す。また、多様なニーズに応じた業務用米の生産と安定取引の推進についても検討する。

## (2) 非主食用米

### ア WCS用稲

本町の輪作体系を考慮しつつ、水田活用の直接支払交付金を活用したWCS用稲の取組を検討する。

その他の非主食用米については、現時点では推進する予定はない。

## (3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、実需者の求める品種の作付け拡大を推進し、一大主産地を目指す。また、弾丸暗渠等排水対策を図りながら、栽培管理の遵守による多収・高品質麦を目指す。さらに、産地交付金を活用して担い手（認定農業者）への集約、麦の二毛作の作付けを促進し、儲かる産地づくりを進める。

大豆については、今後も転作作物の中心作物と位置づけ、主産地になるよう作付面積の増加、担い手への集約を図る。具体的には、集落単位での団地化から、町全域をカバーする広域農場及び個人の認定農業者と協力し、広域的（町全域的）な団地化による生産に取り組んでいる。さらに、2年3作のブロックローテーションを確立し、連作障害を回避するとともに、弾丸暗渠等排水対策徹底による栽培管理遵守により、平均収量 270 kg/10 a 以上の生産を目標とする。また、地元メーカーとの連携による加工・販売を推進し、高品質な生産物の安定的な出荷により高付加価値化を目指す。

## (4) 高収益作物

産地交付金における園芸作物（野菜等）への支援を行いながら、今後作付面積の維持・拡大を図る。特に「いちご」、「トマト」、「ニラ」等を振興品目として他品種からの転換、作付面積の拡大を図る。

また、花き・花木についても、水田の有効利用に効果的であることから、今後も作付けに対して支援を行う。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	330ha 1669.8t	330ha 1,792t	330ha 1,792t	330ha 1,792t
備蓄米	0ha	0ha	0ha	0ha
飼料用米	0ha	0ha	0ha	0ha
米粉用米	0ha	0ha	0ha	0ha
新市場開拓用米	0ha	0ha	0ha	0ha
WCS用稲	4.8ha	5.0ha	5.0ha	5.0ha
加工用米	0ha	0ha	0ha	0ha
麦	609.4ha	640.0ha	640.0ha	640.0ha
大豆	338.9ha	350.0ha	350.0ha	350.0ha
飼料作物	0ha	0ha	0ha	0ha
	0ha	0ha		
そば	0ha	0ha	0ha	0ha
なたね	0ha	0ha	0ha	0ha
高収益作物	13.6ha	17.0ha	17.0ha	17.0ha
・野菜	11.6ha	15.0ha	15.0ha	13.0ha
・花き・花木	1.3ha	1.3ha	1.3ha	1.3ha
・果樹	0.7ha	0.7ha	0.7ha	0.7ha
その他	0ha	0ha	0ha	0ha
畑地化	0ha	0ha	0ha	1ha

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は543kg/10a

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度(実績)	目標値
				R2年度	R5年度
1	大豆	大豆の団地化助成 (基幹)	作付面積	338.9ha	350.0ha
			平均単収	142 kg/10 a	270 kg/10 a
2	麦	麦の二毛作助成 (二毛作)	作付面積	609.4ha	640.0ha
			土地利用率	184%	190%
3	大豆、麦	大豆・麦の担い手 加算(基幹)	担い手の作付面積	342.3ha	350ha
			平均単収(大豆)	142 kg/10 a	270 kg/10 a
			平均単収(麦)	404 kg/10 a	420 kg/10 a
4	野菜、花き・花木	地域振興作物助成 (基幹)	作付面積	13.6ha	17.0ha